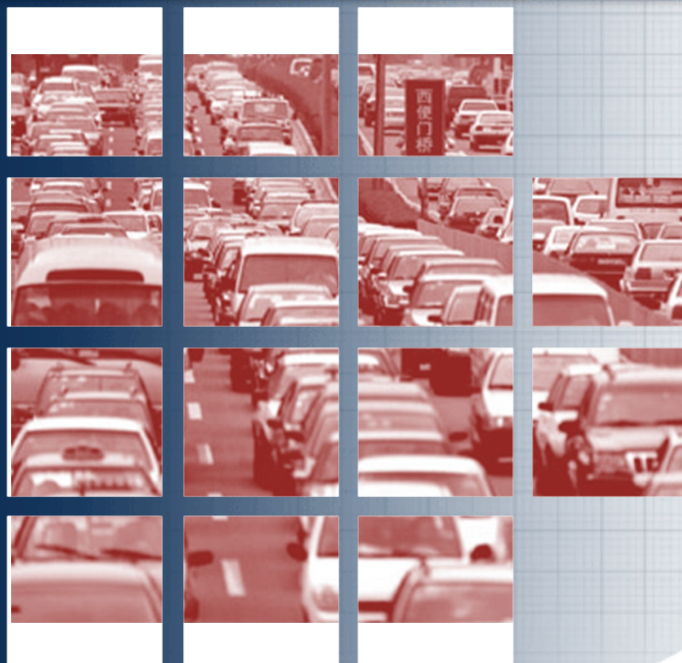


中国の商用交通情報 サービスの今後



中国交通情報サービスバリューチェーンの総合分析

中国国内の新車売上げは 2017 年までに 2200 万台に達すると予想され、交通情報サービスの重要性が高まっていないほど高まっています。SBD の最新レポート「中国の商用交通情報サービスの今後」(SBD/TEL/2980)では、交通情報サービスバリューチェーンの総合分析を行い、現時点では大きな収益性が見込めないエコシステムをいかにして継続維持し、ビジネスモデルが描ける健全な産業にシフトさせるかについて、検証しています。SBD では、中国の交通情報サービス対応ナビシステム販売台数は、2010 年の 15 万 7 千台から 2015 年の 180 万台へと今後 5 年間で 10 倍の伸びを示すと見ています。

本書では、中国特有の状況についての SBD 独自の知識に基づき、バリューチェーン内のキープレーヤーについて分析し、CenNavi、Real Traffic、TransInfo 等主要サービスプロバイダーの詳細を紹介します。更に、各プロバイダーの概要と提供するサービスの内容、および長所・課題を検証しています。また BMW、Ford、Hyundai、Toyota を含む主要自動車メーカー 9 社が現在提供中、もしくは今後提供予定の交通情報の概要も紹介します。



本書では下記の内容を取り上げています。

- 中国の交通情報エコシステムについて、情報データ源、情報分析/加工、配信チャンネル、受信機等を検証することによりバリューチェーンの内容を解説
- 主要交通情報サービスプロバイダーのビジネスモデルや長所・課題を分析
- 主要自動車メーカー各社がどのように交通情報サービスを導入しているかを詳しく検証、又、今後 5 年間の交通情報サービス対応ナビ搭載車両販売数予測を提供
- 今後予想される交通情報データ源および配信チャンネルの変化について解説

詳細に関するお問い合わせは、下記にて承っております。

SBD ジャパン

担当：近藤 真子

Eメール：mkondo@sbdjapan.co.jp

Tel : 052-253-6203



交通情報対応ナビシステムの販売台数は 2015 年には 180 万台に達すると予測される

2015 年までに、中国で販売される車両のうち、年間 150 万台超が交通情報受信機能を備えたナビシステムの装着車になると SBD では予測しています。これは新車販売台数のおよそ 10% に相当します。ただし、この数値の裏には、新興市場である中国の交通情報サービス業界が抱える諸問題が隠されています。中国の交通情報産業は、バリューチェーンのほぼ全ての領域で弱点を抱えており、交通情報受信機市場の更なる成長を阻んでいます。

こうした状況の中、今日の中国における交通情報サービスは低品質であると考えられており、そのため、自動車メーカーによる提供が進んでいません。短期的には、以下の要因により、交通情報のエコシステムにある程度の改善が期待できると考えられています。

- データソースの数の増大：タクシーへの GPS/GSM ユニット装着義務化を導入する地方当局が増えていいる。また、(China Mobile などの)通信会社が積極的にフローティングカーデータ(cFCD)ソリューションの整備を開始している。
- 外資系交通情報専門業者の参入によるサービス向上：外資業者が参入、現地のサービスプロバイダーとの提携を通じて、交通情報技術を支援、最終的に交通情報サービスの品質向上につながる。

中国における交通情報産業のエコシステムの現状

交通情報バリューチェーン	健全な交通情報エコシステムの特徴	中国の交通情報エコシステムの特徴
データソース	低コストで利用できる多種多様なデータソースが数多く存在する	データソースの数が少なく、データ取得手続きが複雑でコストも高い
データ分析機関	膨大な OEM 取引数に対して、データ分析機関の数が比較的少ない	少数の OEM 取引数に対して、データ分析機関の数が多い
配信チャンネル	業界全体での配信チャンネルが少なく、低コストである	ブロードキャストと携帯電話の配信は高コストで数も多く、今後主流となる配信チャンネルについては意見の一致が見られない
受信機	交通情報受信機の数が多い	交通情報受信機の数が少ない

長期的には、民間のサービスプロバイダーと地方当局の間に成熟な関係が構築されて初めて、収益性の向上や産業の成功が見込めます。しかし現在は、民間サービスプロバイダーが公的機関から交通データを取得するにはさまざまな規制があり、不要なコストと労力がかかっています。

この問題を解消する唯一の方法は、中央政府がより積極的に関与し、バリューチェーン全体で交通データを共有できるよう必要最低限の規格を策定することである、と SBD は考えます。

本レポートで取り上げる課題：

- 中国交通情報業界内のキープレイヤーはどの企業・組織か、それぞれの長所・弱点は何か？
- 各自動車メーカーはどの程度自社ナビシステムに交通情報を採り入れているか、また今後 5 年間で搭載率はどのようなペースで伸びると予測されるか？
- 交通情報データ源の少なさと高コストは、交通情報業界全体の健全性にどのような影響を及ぼしているか？
- 中国での交通情報サービス提供において、どのような配信チャンネルが重要な位置を占めつつあるか、また他の市場に比べて状況はどうか？

»» ...know what tomorrow brings

目次

1. 要旨

- 1.1 はじめに
- 1.2 要点サマリー-60-second summary of conclusions
- 1.3 結論の概要

2. 市場動向

- 2.1 はじめに
- 2.2 バリューチェーンのキープレイヤー
 - 2.2.1 地図サプライヤー
 - 2.2.2 交通情報専門業者
 - 2.2.3 通信会社
 - 2.2.4 デバイスサプライヤー
 - 2.2.5 自動車メーカーおよびサプライヤー
 - 2.2.6 行政当局
- 2.3 自動車メーカーによる交通情報サービス提供状況
- 2.4 交通情報対応のナビシステムの販売予測

3. 中国における交通情報のエコシステム(収益構造)の構築

- 3.1 はじめに
- 3.2 優良な交通情報エコシステムの必要条件
- 3.3 中国における重要な成功要素
 - 3.3.1 データソース：収集できるデータソースの増加と情報収集コストの削減
 - 3.3.2 分析機関の統合
 - 3.3.3 配信チャンネルに関する取り決め
- 3.4 今後の展望

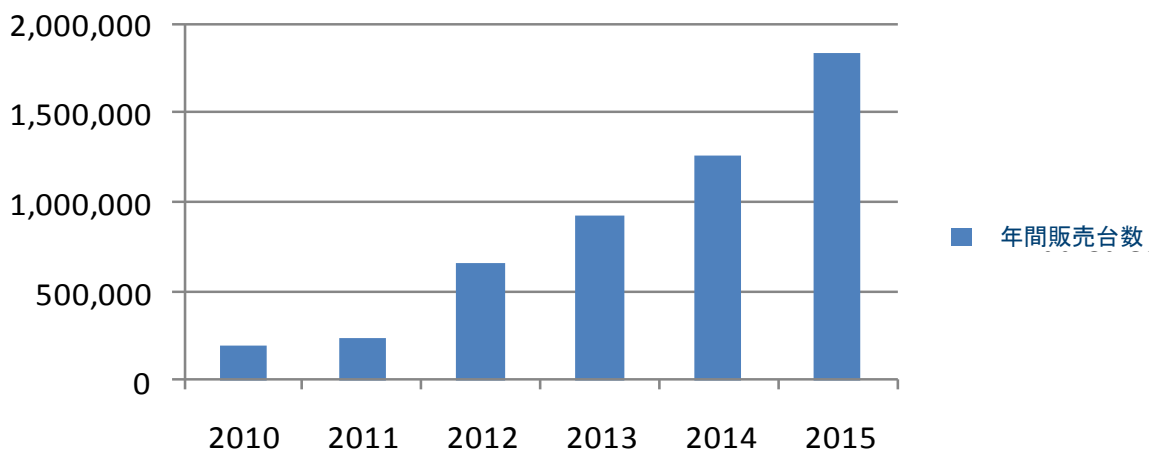
4. サービスプロバイダー各社のプロフィール

- 4.1 はじめに
- 4.2 Autonavi
- 4.3 CenNavi
- 4.4 CTMS
- 4.5 RealTraffic
- 4.6 TrafficCast (Meihui)
- 4.7 Transinfo (Palmcity)

図表一覧

- 表 1. 中国における交通情報産業のエコシステムの現状
- 図 2. 中国の新車販売台数の推移(2007年～2017年)
- 表 3. 交通情報の収集と配信に関わる現在および将来のキープレイヤー
- 表 4. 中国で交通情報サービスを提供している自動車メーカー
- 図 5. 交通情報対応ナビ搭載車の予測販売台数(2010年～2015年)
- 図 6. 日本、欧州、米国、中国の各交通情報エコシステムの比較
- 表 7. 米国、欧州、中国におけるプローブデータソースの比較
- 図 8. 米国、欧州、中国におけるプローブデータソースの比較

中国での交通情報対応ナビ搭載車の予測販売台数
(2010年～2015年)



SBD の基本理念

自動車セキュリティ分野、テレマティクス・ITS 分野、ならびにコスト・オブ・オーナーシップ向上活動分野において最先端の製品開発を深い知識と確かな情報で支援する。

本書の著者について



アンドリュー・ハート : ITS & テレマティクスシニアスペシャリスト

ナビゲーションと交通情報の分野の専門家と知られ、自動車メーカーやサプライヤー向けに、欧州における技術、ビジネス、消費者トレンドについての情報を提供している、数々の国際フォーラムのメンバーであり、欧州と日本における ITS 関連の催しでは、しばしばスピーカーを務める。

本書のご購入形態

※下記は税抜価格です

レポート名	日本語版	日本語版	英語版	英語版
	製本+PDF	製本のみ	製本+PDF	製本のみ
中国の商用交通情報サービスの今後 (SBD/TEL/2980)	¥ 405,000	¥ 319,000	¥ 355,000	¥ 269,000

SBD ジャパン

担当 : 近藤 真子
E メール : mkondo@sbdjapan.co.jp
Tel : 052-253-6203

関連レポート



中国のテレマティクス総合ガイド (SBD/TEL/2870)

中国の自動車業界が成長するにつれ、自動車メーカーは、接続型車載エクスペリエンスへのユーザー期待度の高まりに対応するうえでのテレマティクスサービス導入の重要性を認識しはじめています。SBD は今回初めて中国市場で提供されているテレマティクスサービスの総覧、その実績形態とエンドユーザー満足度、価格構成についてのインタラクティブなテクニカルガイドを作成しました。



中国の埋め込み型アフターマーケット市場の現状と OEM の対抗戦略 (SBD/TEL/2970)

本書では中国の埋め込み型アフターマーケット市場の現状と今後の傾向について分析し、中国のナビの模倣品および模倣サービスに対抗すべく、敏速に戦略を策定し、実行する方法などを取り上げています。本書にはアフターマーケットナビシステムに関するデータベースが付属しています。このデータベースには、システムの価格、対象車種、サプライヤーのウェブサイトへのリンクが含まれています。



中国エンドユーザー調査 : スマートフォン及び車内でのアプリ利用に対する意識 (SBD/TEL/3020)

中国のスマートフォン市場は目覚ましい発展を遂げており、今自動車業界ではアプリベースのインフォテインメントにも同様に需要の高まりが今後あるのかどうか注目が集まっています。新機能の販売とユーザーの利便向上全体に伴うビジネスチャンスとアフターマーケットサプライヤーの台頭による脅威を背景に、自動車メーカー各社はアプリベースのインフォテインメントソリューションの中国展開を検討し始めていますが、その方向に進む前に、中国の消費者志向を的確に把握することが自動車業界にとっては重要です。そこで SBD ではスマートフォン所有者のアプリ利用状況及びアプリの車内利用に対する関心度についての分析を行いました。